



令和6年度 知的財産権制度関係功労者表彰

知財功労賞 経済産業大臣表彰

(五十音順 敬称略)



こん どう
近 藤

けん じ
健 治

株式会社ヨコオ 技術本部・知的財産部顧問

功績概要

- 知的財産関連団体の要職を歴任し、日本知的財産協会では理事長として、「知的財産推進計画」、および「知的財産戦略ビジョン」の策定に向けた意見表明を行うなど、知的財産制度の発展に大いに貢献。
- 「三極特許庁長官会合」、「五庁長官会合」に日本のユーザ団体の代表として参画、特に三極特許庁長官会合・ユーザ会合においては共同議長を務め、また、WIPOと協力覚書を締結するなど、我が国のみならず、欧米、アジア各国の政府機関、関係団体との交流を通じて、知的財産制度の運用の国際調和に大いに貢献。
- 知的財産戦略本部検証・評価・企画委員会において、各種施策の実施状況の検証・評価を行い、新たなビジョン策定を積極的に支持するとともに、「知的財産推進計画」の評価、検討に大いに貢献。
- 産業構造審議会知的財産分科会不正競争防止小委員会の委員としてデータ利活用促進を目的として不競法改正議論に参画。終始一貫してデータ利活用促進目的を主眼とした意見具申をし、世界初の「限定提供データ」に関する法改正に貢献、また特許制度小委員会の委員として、ウィズコロナ/ポストコロナ時代における特許制度の在り方について取りまとめ、日本産業界を代表した意見具申をし、特許法改正に貢献。

知財功労賞 特許庁長官表彰

(五十音順 敬称略)



いし の
石 埜

まさ ほ
正 穂

札幌医科大学 教授・弁理士

功績概要

- 先端医療技術を担うアカデミアの特許の重要性が増している中、医療系の学生や研究者への知財教育がほとんど行われていないことやインハウスの知財専門家が不足していることに課題を見出し、札幌医科大学において全国医学部で唯一となる知財担当教室を主宰。そこを拠点に、全国の医学生・研究者への知財リテラシーの普及・啓発や、医療系アカデミア・地域における知財人材育成に貢献。
- 医薬発明に係る審査基準の在り方や各種の知財関連判決について医学的見地から独自の検証を行い、多数の論文を執筆し、学会発表やシンポジウム、委員会を通じて、医療分野における知的財産制度の発展に貢献。
- 長年、大学で医学研究に従事していたが、知的財産に関心を持ち、弁理士資格を取得。医学研究と知財の2つの世界の狭間で、知財制度における医療技術的な課題と、医学研究分野における知財的な課題を整理し、医療分野における知的財産制度の活用に貢献。



き むら
木 村

かず よし
一 義

株式会社シェルター 代表取締役会長

功績概要

- 山形県発明協会会長を務めるなど、山形県における、発明の奨励、青少年の創造性開発育成及び知的財産権制度の普及啓発を行うことにより、科学技術の振興を図り、地域経済の発展に寄与。
- 山形県内に「さがえ少年少女発明クラブ」を新設するとともに、クラブ創設の際必要となる設備整備費に対して、県発明協会独自の支援制度を創設するなどし、次代を担う人材育成に係る事業の推進に貢献。
- 山形県よろず支援拠点、金融機関との連携により、新たに定期相談会を開催し、相談対応を行い、地域の知的財産権制度の発展に寄与。また、金融機関、支援機関、業界団体との包括的連携・協力協定を締結し、関係機関と連携し、県内企業・事業者の知財活用、デザイン経営の促進に貢献。